

呉市手をつなぐ育成会

～2月号～

2023年(令和5)年2月1日発行

呉市手をつなぐ育成会

会長 中川 潤二

〒737-0051

呉市中央5丁目12-21

呉市福祉会館3階

Tel(0823)24-2260

Fax(0823)24-2568

E-mail kure-teotunagu

@herb.ocn.ne.jp

<http://kure-teotunagu.org/>

育成会だより



障がい児者を守り,その福祉の向上を図ることを目的とします。



呉市立坪内小学校 たんぽぽ・ひまわり・コスモス学級作品

もくじ

- 表紙 呉市立坪内小学校
- P.2 本が好きです 会長 中川潤二
第46回呉市立小・中学校特別支援学級合同作品展
- P.3 連載6 うたう会支援者 岩木 達
- P.4 サポートファイル学習会・みんなの話報告
野呂山学園作品展ご案内
- P.5 手をつなぎ生きる vol. 17
「児童デイサービスの先生に憧れて」松浦 礼子
- P.6 ぼくの学級！わたしの学級！呉市立両城中学校
- P.7 クリスマス会に参加して(清水ヶ丘学園) 本人活動報告
- P.8 お知らせ 広告 編集後記

2月の予定

- 2月4日(土)
いくせい太鼓 14:00～
- 2月9日(木) 10:00～12:00
サポートファイル学習会 (呉市福祉会館3階)
- 2月19日(日)
本人部会会議 10:30～ (呉市福祉会館3階)
うたう会 13:30～ (呉市福祉会館3階)
- ★次回発行は3月1日です





「本が好きです」

会長 中川 潤二



好きな本は「十五少年漂流記」です。小学生の時に読みました。無人島で力を含わせて生き延びる少年たちの話です。ちゃんと自治組織を作り、島を開拓するドラマチックな物語です。

私がこれまでの人生で一番繰り返し読んだ物語です。子供のころ何度も読んで、次のページの展開もよく分かるし、挿絵も頭に浮かんでいるので、「今日はあのページで我慢」と決めているのに、ついもうちょっと読んでしまっただけ息をついていることもしばしばでした。それ程好きで夢中になっていました。

大人になって、ある島の学校の図書室でその懐かしい本に出会いました。こげ茶色のしっかりした装丁の少年少女向けの全集のうちの一冊です。思わず手に取ってめくりました。数十年たっても覚えていました。

私は、本屋さんのないところで育ちました。

本に出会うのは図書室です。小さな学校でしたが図書室の雰囲気は好きでした。校舎の端っこで壁一面本がありました。低中学年には少し大きすぎる椅子に腰掛けて読んでいました。冬のストーブのない冷たい空気の中で一人読んでいたことも懐かしい記憶です。

物語と一緒にあの図書室も思い出すことができました。

本屋さんはありませんでしたが、かえってたくさんのお本に出合えたように思います。いろいろなジャンルの本が目の前にあって、手にすることができるのです。

中高大、どの図書館にも思い出があります。ずいぶんたくさんのお本に出会いました。好きな作家さんもできました。でも、「十五少年漂流記」ほど繰り返し読んだ本はありません。自分にとって大切な本です。(ちなみに「十五少年漂流記」は1888年に出版された本です。今でも十分子供たちに勧められる本です。)

今、コロナ禍で時間はあるのに、本から離れています。刺激的なメディアがあふれていて情報はそちらから得たほうが便利なことは間違いありません。でも言葉から受ける想像力を育むのに、本は優れています。また、それを目にする環境も大切です。また、心を元気にするためにゆっくり本を読みたいと思っています。今、もう一度読みたいのは、くりすあきらの「ぼくはてんさいかのう」「ありがとうのてがみ」です。



～第46回呉市立小・中学校特別支援学級合同作品展～

1/13(金)～1/17(火)呉市役所1階多目的室にて開催されました。

取材に行った日は、雨が降る寒い日でした。そんな中でもたくさんの方が皆さんの作品を見に来ておられました。作品展の一部を紹介させていただきます。





2019年第25回をもって終了したふれあいコンサート。数々の思い出と、たくさんの素晴らしい歌に込められた思いと共に、またいつの日かふれコンオリジナル曲を皆で歌いまくる日が来ることを願って書いていただきました。

連載6

=ふれコンの輝く歌=

本人部会支援者・うたう会指導者 岩木 達

ふれあいコンサートは『ラララ』で開幕します。右手の人差し指と中指を交差させた「ら」の指文字を振りながら「♪ラーララー ラーララー」と歌います。エンディングは『きっと来る明日へ』です。大きな動きで手話表現をしながら歌います。「♪……きっと来る明日へ 向かって走り出そうよ 君と僕の明日へー」と、会場の熱気は盛り上がります。そして「アンコール アンコール」の声に会場が一つになっての拍手と掛け声で『ラララ』が始まり、希望者みんながステージに上がって歌います。これがふれコンのスタイルでした。

ふれコンで歌う曲は、ワッツのメンバーによるオリジナル曲ですが、その中に作業所の利用者さん本人が作詞した歌があります。「きっと来る明日へ」もその一つです。

「♪喜びが終われば 悲しみが待っている……だけど悲しみの後には 新しい喜びが待っている だから 人生の夜明けを信じよう ひとりひとりが ひとりじゃない」と歌う『ひとりひとりが ひとりじゃない』も第1回から歌いました。

第2回には『君と僕の物語』や「♪辛いだろうが我慢して 胸に希望の夢を抱き……」と歌う『悲しみの丘』『夢さえあれば』が生まれ、歌い継がれてきました。

第12回の開催に備えて、利用者さんから歌詞の公募をしました。そこで3編が選ばれました。『Boys and Gils love forever』『しあわせ』『出会い』で、それぞれに曲が付けられました。「♪幸せとは運命 幸せとは絆 ……涙の後には 幸せが舞い降りてくる いろんな気持ち抱え込んで しあわせ しあわせ しあわせ～」と「♪しあわせ しあわせ」を繰り返す軽快な歌が『しあわせ』です。

『 出 会 い 』

♪ 縁日ですくった金魚を川に逃がす
 星空を見れば必ず何かを誓う
 萎れた花を見れば水をやる
 そんなあなたの後ろ姿に
 あしたを見つけた
 あなたを育ててよかった
 あなたに出会えてよかった
 あしたを信じてよかった

♪ 戸惑う心を笑顔で隠しながら
 そっとぬぐった頬 伝わる涙
 それはまるで雨上がりの虹のようだね
 一筋の希望に続く
 道に思えた
 あなたを育ててよかった
 あなたに出会えてよかった
 あしたを信じてよかった



1番は、温かいまなざしで見つめ、いつくしみ育ててくださる両親への感謝の思いと信頼感がひしひしと伝わります。2番は、作業所施設の職員さんへの思いです。この作者は、電動車いすで生活しておられ、作業所では、スティックをくわえて、パソコンのキーボードに向かっておられるとのこと。この詩も、このスティックの先から書き留められたのでしょう。

ふれあいコンサートは、2019年に第25回をもって終了しました。たくさんの素晴らしい歌を歌い続けてきましたが、もうその機会がなくなりました。うたう会の曲集には取り上げています。ワッツのメンバーは健在です。いつの日か、ふれコンオリジナル曲を歌いまくる日が来ることを願ってやみません。

～サポートファイル学習会報告 in ことばの親子教室～

12月23日(金)ことばの親子教室でサポートファイル学習会を行いました。保護者・職員の方約20名が参加されました。

前半は、サポートファイルの内容・書き込みの際のポイント等の説明を行いました。

記録を残しておく、進級時・卒業後の進路・障害基礎年金の手続きを行うときに、役立てることができます。現在の子どもの年齢の部分から気負わず、記入していきましょう。

後半は、『子どもの成長を想像し、今大切にしたいことを考えてみよう』をテーマに意見を出し合いました。忙しい毎日の中ですが、子育てについてゆっくり向き合う時間となり、また他の方の話の聞くこともできる良い学習会となりました。



2月9日(木)です
次回の学習会は



サロン『みんなの話』報告



1月19日(木)コロナ感染の影響もあり、参加者は少数人数でしたがサロンを開催しました。

「嬉しかったこと」「困ったこと」を話していただき、その後サポートファイルの中の『夢の一番星シート』を使って子どもの近い将来の夢を具体化していきました。

お母さんの「ひとりごと」には地域の課題『種』があります。丁寧に種を拾って考えていきましょう。



第40回 野呂山学園作品展

日時：令和5年2月21日(火)～2月26日(日)10:00～16:00

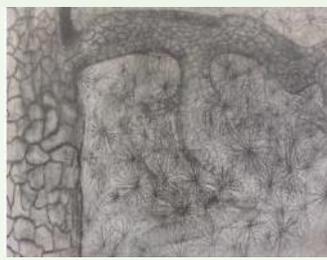
場所：グリーンヒル郷原（香りの館） 入場無料

問い合わせ先：野呂山学園（作品展広報担当 岡田 0823-77-0111）

※新型コロナウイルスの影響で延期または中止の可能性あり。お問い合わせください。

第40回の節目となる『野呂山学園作品展』を開催します。

当法人を利用されている皆さんが、年間を通して取り組んでいる創作活動のなかで制作した絵画・書・陶芸等の個性豊かな作品を多数展示しております。何かと気を遣う今日この頃。ユニークでほっと心温まる、そんな作品に癒されてみませんか。今年はみなさんとお会いできることを楽しみにしています。





～児童デイサービスの先生に憧れて～



松浦 礼子



平成 17 年 9 月, 3 週間早く長男として誕生。

元気でよく寝てくれる子で, いつも元気に遊んでいました。

3 歳児健診で少し言葉が遅れていると言われ,

心配になり姉妹に相談して気にかけていました。地域で『ぼぼちゃん広場』に参加。その時も気になると言われ, 周りの人に相談しました。そんな中, 平成 20 年 2 月にまた 3 週間早く長女が生まれ忙しい毎日でした。

保育所は近所の, 三坂地保育所を選び下の子と 3 人で登園する事にしました。普通に行けば 5 分で行ける距離を, 息子は寄り道をしながら 30 分かけて登園します。周りが気になってただ時間がかかっていました。

保育所の初めての家庭訪問で発達障害があるのではないかと言われ, 県病院にいい先生がいるからと紹介され, すぐに予約をしました。初診日には心細く所長先生がついて来て下さいました。

そして何回か検査をするうちに前頭葉が普通の子より小さい事, そして舌が短い事がわかり, 広島大学病院でマウスを作っていただきはめさせていました。マウスを付けると口の中に傷ができ痛みましたが, 何とか 6 ヶ月が過ぎ, マウスをはずしてからはよく喋るようになりました。その間, 言葉の教室などの療育にも通いました。

小学校入学に当たり普通学級か支援学級か主人とも話し合いましたが, 意見に食い違いがありました。主人の望む地域の小学校の普通学級を選択しました。しかしコミュニケーションが取りにくい息子はやはりしんどいようで, みんなと一緒に前を向いて座ることができず, ずっと後ろの黒板を見て粘土で遊んでいる日々を過ごしました。そんなこともあり, 二学期から支援学級に編入しました。

息子が小学校 5 年生の 2 学期から, 家庭の事情で昭和南小学校に転校しました。転校前の夏休みに児童会に通い, そこで友達もでき新学期は楽しく登校できました。

この時, 児童デイサービスもにこにこ園に変わり支援の先生方と出会いました。

中学校では, 担任の先生とコミュニケーションが取れず, いつも怒鳴られていました。きぼうの土手さんに相談すると校長, 教頭, 担任, 児童デイの先生, 家庭教師で息子のモニタリングをしてくださいました。1 年生の間に何回学校に行ったでしょうか。

2 年生では担任が病弱。授業は手の空いた先生が入れ替わり立ち代わり来られ授業も思うように進みませんでした。

3 年生になると下級生もでき色々とお世話をしたようです。先生とも連絡ノートを作り子どもの様子を知ることができました。

高校受験に向け, 息子は「児童デイサービスの先生になりたい」という思いを持ち, 担任や家族, 児童デイサービスの方とも相談し, 福祉科を選択する事に決めました。

そしてみらい創生高等学校を受験する事にしました。面接の練習はにこにこ園の方がして下さいました。結果, 無事合格。

一番ににこにこ園の方に泣きながら報告しました, 高校には朝早くバスに乗り通学しています。

高校では仲の良い友達が 2 人でき, 障害の事を電話で話しているのを聞き, 説明がうまくできず困っていたので私が代わりに話しました。

友だちは障害のことを自ら調べ, 息子の事を理解してくれました。

それからはありのままの姿で, とても楽しそうに生活をしています。

3 年生になると, 就職を考えなければいけません。

障害がある事で足りない部分がたくさんありますが, 卒業まで, 色々な事を経験し, 児童デイサービスの先生になれるよう家族でバックアップしていこうと思います。



ぼくの学級！
わたしの学級！

フロンティア学級2組の紹介 両城中学校

フロンティア学級2組は今年度、1年2名（男子1名、女子1名）2年2名（女子2名）、3年1名（女子1名）の5人で楽しく元気に学習しています。

スクールモットーの「笑顔と貢献 ～チーム両城で一步前へ～」を意識して、上級生が下級生に教えるなど、チームフロンティア2組で頑張っています。

5人の得意なことは切り絵です。切り絵をしている時の集中力はすごいですよ。



第1校舎のエントランスに「ようこそ両城中へ」という大作を掲示しています。



花壇を耕して、「きれいな花が咲きますように」と願いながら春に咲く花を植えました。



みんながかわいいつリーを仕上げました。



野菜を植えるために畑を耕しています。

さまざまな授業から、新しい発見があったり、アイデアが浮かんで実行してみたりしながら日々、前進しています。



楽しかった育成会クリスマス会！～続編～



清水ヶ丘学園インターアクトクラブの皆さんから メッセージを頂きました。

「清水ヶ丘学園インターアクトクラブの皆さんありがとうございました」

今年も皆さんの笑顔を見ることができ嬉しく思いました。

1人1人が個性豊かで、たくさんの方の、笑っていたり、悔しがっていたりした様々な表情を見て、人は皆違った面があり、素敵だと感じました。すごく心に残る、楽しい会でした。ありがとうございました。

皆さんが元気で過ごせることを願っています。

松田星那



今回、初めてクリスマス会に参加させていただき、参加者のみなさんとの楽しい時間を過ごせたことを嬉しく思います。ゲームをする時には、年齢に関係なく、みんなが笑顔で楽しんでいるのを見て、私もとても楽しかったです。このような機会を作ってください、ありがとうございました。

来年もぜひ参加したいです。

平岡 真奈

クリスマス会に参加でき、とてもいい経験ができました。ボランティアとして最初はうまくできるかと心配でしたが、いろんなゲームをしていくうちに、みんな笑顔で、とても楽しそうでした。また、自分もいろんな人と関わることができとても楽しく、勇気をもらうことができました。このような機会をいただきありがとうございました。来年も参加したいです。

小山 舞衣

はじめての参加で緊張しましたが、とても楽しむことが出来ました。ゲームのお手伝いをしたり、私もゲームに参加したり、みなさんと交流を深めることができ、貴重な経験をする事が出来ました。

最後には、歌を歌って踊ったり、プレゼント渡しをしたりとても楽しい1日になりました。

また、このような会を開くことがあれば参加し、地域のみなさんと交流を深めていきたいと思ひます。

箱崎 遥

ほんにんかつどうほうこく 本人活動報告

1月15日(日)に本人部会に参加しました。

お正月に何をしたかをひとりずつ話をしました。

ぼくは、お墓参りをしたとおせち料理を

食べたことを話しました。宮島へ行った人もいました。

その後、1月29日福山である本人交流会の打ち合わせをしま

した。その日、僕はいきませんがアンケートと一緒に書きました。

昼からのうたう会は1月の歌を歌いました。「寒い朝」などを

歌いました。

尾橋 隆太



☆ありがとうございました☆

【順不同・敬称略】(1月20日現在)



ご寄付いただいた皆さま



学校法人広島みどり学園 焼山みどり幼稚園

元気の出る情報・交流誌「手をつなぐ」

「手をつなぐ」は、知的な障害のある当事者(本人・家族)に関しての教育・福祉・労働等々の諸施策などの記事を中心に、全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発行している機関紙です。

※購読希望の方は、呉市手をつなぐ育成会へお問合せ下さい。(年間購読料 3,900円)



編集後記

立春は、二十四節気において春の始まりとされる日。節分の翌日です。

節分と言えば、今は恵方巻ですが、昔はひいらぎの枝にイワシの頭をさして玄関に置いたものです。そろそろ、北風にも退散してもらいたいですね。

病気に負けない体づくりは、まず食生活の見直しです。日頃から野菜を取って元気な体づくりを心がけたいものです。

広島県手をつなぐ育成会 互助制度のご案内

心身に障害のある人が病気やケガで入院をし、付添看護が必要となったときや、突発的に他人に損害を与えたときの大きな出費にそなえて、いざというときのためにみんなで助け合いましょう。これが「広島県手をつなぐ育成会 互助制度」です。

2つのプラン①スタンダード型 12,000円②補償充実型 18,000円がございます。詳細はパンフレットまたは、育成会のホームページをご覧ください。※来年度の継続のための会費依頼は2月中に発送いたします。

障害者支援施設 仁方
特別養護老人ホーム 仁方 *Nigata*
アメリカンダイナー 仁方 (通所介護・生活介護)



〒737-0157 呉市仁方町戸田 4407 番地
Tel:(0823)70-2222 Fax:(0823)79-0020



障害福祉サービス事業

呉市本通4丁目9-6 青虫本通ビル

☎0823-24-9477/FAX0823-24-9477

青虫の会

子どもは就労継続支援B型作業所として住民の方々のご支援のもとリサイクル品の収集や公園の清掃など日々充実した活動を行っています。

◆◆◆作業内容◆◆◆

資源回収・機器分解

清掃活動

商品販売



社会福祉法人 広島岳心会

障害者支援施設

野呂山学園

多機能型障がい者支援事業所

デイセンター

のぞさん

多機能型障がい者支援事業所

ライフサポート

てんのう

地域生活支援センター

のぞさん

特別養護老人ホーム

のぞさん

デイサービスセンター

グリーンヒル

NEWS

障害者支援施設野呂山学園では、現在新しい建物を建設中

令和5年春 完成予定!

法人本部:呉市郷原町 12380 番地 181 ☎(0823)77-0111